

# 石井美術の会および地域の方との合同展示会開催報告

## 蔵本技術部門 研究開発支援グループ

今林 潔 (Kiyoshi Imabayashi)

### 1. はじめに

徳島大学薬学部附属薬用植物園には薬学部の学生実習に使用する研修室がある。本園研修室は社会貢献や地域貢献の目的で、さまざまなグループに開放して展示会を開催している。

### 2. 概要

平成30年10月15日から19日にかけて(9時～17時)、本園研修室(徳島市国府町)にて、石井美術の会(10名出席)および国府町在住伝統美術愛好家による「薬草画展・一閑張り作品展」を合同開催した。(図1, 2)

### 3. 内容

今回は、当初山水画の創作グループに1年前より展示会を依頼していたのだが、先方の諸事情で開催ができなくなったため、急遽伝統美術愛好家の方に石井美術の会をご紹介いただき、会の皆様には6月と7月計2回、本園で創作活動をしてもらった。また、伝統美術愛好家の方には、筆者と企画打ち合わせをして一閑張り作品の創作に初挑戦してもらった。(一閑張りとは、竹などで編んだ籠や鞆に和紙を何度も張り付け、柿渋や漆を塗った日本の伝統工芸品)(図3)



図1 写生風景(本園研修室にて)



図3 一閑張り作品展示



図2 薬草画展示風景

### 4. まとめ

本園研修室での様々な展示会開催において、筆者から表現者に本園の薬用植物や希少植物を題材にすることをお願いしている。また、筆者と表現者との企画打ち合わせでは、できるだけ初挑戦スタイルの創作をお願いしている。そうすることで、あまり徳島県では見ないような絵画や写真画像、徳島県や日本の伝統美術品が生まれる。このような表現物に興味を持つ方々が、これらの展示会を通して来園していただき、できるだけ薬用植物に興味を持ってもらえるような運営を続けたい。